

カップブラシ・ベベルブラシを発売

「カチッ」と簡単脱着で話題のディスクグラインダ取付システム「X-LOCK」。

工具不要の、この新システムは、グラインダ本体だけでなく、それに対応した先端ツールの充実が更なる普及拡大の大きなポイントとなる。

3月9日に開催されたオンラインイベント「エックスロックフェスティバル」には、同システムの特許を持つ電動工具メーカー・ポッシュのほか、先端工具メーカー6社が競



工具不要で手軽に脱着可能

演。X-LOCKシステムの優位性や特徴および各社の対応製品について紹介した。ライブ配信中に寄せられた

視聴者からの多くのコメントが、その感心の高さを物語っていた。フェスティバルでは

研削研磨砥石や切断砥石、カットソーなどのディスク製品が多い中、唯一、カップブラシ・ベベルブラシで存在感を示したのが、ドイツ・OSBORN社。

同社は1887年設立のブラシメーカーで、世界13カ所に工場を有し、120カ国以上に向けて、高品質な各種工業用ブラシを提供している。

中でも、長年にわたり高効率な錆取りやばり取り、溶接後の仕上げなどで定評のあるのがカップブラシ・ベベルブラシだ。この人気シリーズにこのほど、新たに「X-LOCK」

システム対応品が加わった。

X-LOCKシステム対応カップブラシ・ベベルブラシは、ディスクグラインダへの脱着が従来のM10やM14を用いた方式と比較し、簡単で確実に行える上、脱着の際や使用時における事故のリスクを大幅に低減。また、OSBORNのX-LOCKシステム対応ブラシは、M14での取り付けも可能な「コンビアダプタ」方式を標準装備しているの

で、両方式のグラインダを併用するエンドユーザーでは在庫管理面でも大きなメリットとなる。

OSBORN社製ブラシの全ては、ヨーロッパのパワーブラシ安売規格「EN1083-2」に準拠して開発、製造しており、取り付け方法のみならずブラシ本体においても高い安全性を確保している。スチール製のワイヤは、硬度と韌性を高

次元でバランスさせた、独自開発の「ハイカーボン・スチール」を採用し、優れた除去能力と長い工具寿命を両立。そのことはロボットを用いたブラシパフォーマンス測定装置における競合製品比較検査でも優れた能力と耐久性が実証されている。

また、ステンレス加工後の錆発生を抑制できる「ステンレスワイヤ」もラインアップし、ワイヤ形状も重作業向きで広がりを抑えたノットワイヤと、軽く中作業向きのクリンプトワイヤの2タイプがあり、用途や状況に合わせてワイヤ材質や径を選択することができ

る。ラインアップはワイヤ材質、径、形状違いでカップブラシ6種、ベベルブラシ4種の合計10種類ある。

問い合わせは、電話03-33273-7511(ムラキ機械工具部)まで。